

# 一般質問一覧表

田原市議会第1回定例会（第2日・第3日）

平成28年3月2日・3日

## ●代表質問

会派名	氏名	質問事項	ページ
自民クラブ	長神 隆士	(一括質問一括答弁方式) 平成28年度予算案について	1
市民クラブ	彦坂 久伸	(一括質問一括答弁方式) 市長の施政方針並びに教育長の教育方針について	2

## ●個人質問

順番	議席	氏名	会派名	質問事項	ページ
1	8	岡本 禎稔	自民クラブ	(一問一答方式) マイナンバー制度について	3
2	6	廣中 清介	市民クラブ	(一問一答方式) 「いじめ防止」への取組について	4
3	9	平松 昭徳	市民クラブ	(一問一答方式) 道の駅について	5
4	4	赤尾 昌昭	市民クラブ	(一問一答方式) 公共施設の適正化について	6
5	12	大竹 正章	市民クラブ	(一問一答方式) 人口減少時代の土地利用施策について	7
6	5	河邊 正男	日本共産党 田原市議団	(一問一答方式) 1 スポーツ振興で健康なまちづくりを 2 ごみの分別・資源化で浮いた財源を教育・福祉の充実に 3 国民健康保険の広域化と田原市国保税について	8
7	14	荒木 茂	自民クラブ	(一問一答方式) ふるさと納税について	11
8	16	辻 史子	公明党 田原市議団	(一問一答方式) 1 病児・病後児保育の整備・実施実現に向けて 2 認知症高齢者やその家族を支える施策について	12
9	3	渡会 清継	自民クラブ	(一問一答方式) 1 国の税制改正に伴う田原市の減収対応について 2 赤羽根地域のまちづくりについて	14
10	10	杉浦 文平	無所属クラブ	(一問一答方式) 新年度からの市の業務体制等について	16

# 平成 2 8 年度予算案について

質問者 長神 隆士 議員

## 質 問 要 旨 (一括質問一括答弁方式)

平成 2 8 年度田原市予算案について、以下のとおり伺う。

- 1 新年度予算編成の基本的な考え方について
- 2 平成 2 8 年度の重点施策について

# 市長の施政方針並びに教育長の教育方針について

質問者 彦坂 久伸 議員

## 質 問 要 旨（一括質問一括答弁方式）

- 1 人口ビジョンと地域創生について
- 2 予算大綱について
- 3 教育方針について

## マイナンバー制度について

質問者 岡本 禎稔 議員

### 質 問 要 旨 (一問一答方式)

平成25年5月に「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」、いわゆるマイナンバー法が成立し、昨年10月からマイナンバーを符番した通知カードが市民に送付された。また、この通知には、マイナンバーカードの交付申請書も付されており、希望者には、本年1月からマイナンバーカードの交付が市役所市民課の窓口において開始されたところである。

マイナンバー制度は、行政の効率化や公正な給付と負担の確保など、国民の利便性を図ることを目的とした国全体の社会基盤整備であり、その利用について、社会保障、税、災害対策に加え、今後、更なる利用拡大も予定されている。

マイナンバー制度の目的を達成し効果的な運用を図るには、本制度に対する市民の理解と協力は不可欠であると考えます。先に行った議会報告会においてもカードの交付やその活用、また、セキュリティ対策に関する質問もあり、改めて市民の関心の高さをうかがい知ることとなった。

そこで、以下の点について伺う。

- 1 通知カード及びマイナンバーカードの状況と住民窓口での利用について
- 2 マイナンバーの制度内容や取扱いに関する市民への周知について
- 3 情報セキュリティに関する強化対策について

## 「いじめ防止」への取組について

質問者 廣中 清介 議員

### 質 問 要 旨 (一問一答方式)

昨今、いじめが原因で子どもが命を失う、あるいは自ら命を絶つ事案が頻発している。本市では平成26年9月に「いじめ防止方針」が策定されているが、このような事案の発生がないとは言い切れない。事は重大であり、発生してからでは手遅れである。いじめによる心身の苦痛は間違いなく学習の妨げとなり、学力の低下を招く。また、いじめによる嫌な思い出は、将来その子が地域を、そして田原市を離れる一因になりかねない。将来的に一人でも多くの子どもたちに活躍してほしい田原市にとって、これは大きな痛手となる。人に心身の苦痛を与え、人を死に追いやるかもしれない「いじめ」という行為は、してはいけないに決まっている。したがって、いじめをしない人づくりを目指すことは大変重要なことであるが、また他方、「いじめられる側も悪い」とか「いじめられても仕方ない」という論理を打破し、いじめられることはおかしいことだという「人権意識」を持たせる教育も重要である。

そこで改めて、「いじめ」に対する田原市の取組姿勢について伺う。

- 1 小中学校における「いじめ」の現状と課題について
- 2 課題への取組について
- 3 「いじめ」を生まない「ひとづくり」について

## 道の駅について

質問者 平松 昭徳 議員

### 質 問 要 旨 (一問一答方式)

道の駅は制度発足から23年目を迎え、全国に1,079駅、愛知県には16駅、本市においては3駅あり、旧3町にそれぞれ1駅登録されている。道の駅の定義としては、「長距離ドライブや、女性や高齢者のドライバーが増加するなかで、交通の円滑な流れを支えるため、一般道路でも安心して利用できる休憩のための施設」とされ、当初は、道路利用者の休憩施設としての役割が主であったが、近年では、農業・観光・福祉・防災・文化など、地域の個性、魅力を活かした様々な取組がなされている。国としても2014年度より、重点「道の駅」制度をスタートし、「道の駅」の支援を進めており、「地域の拠点機能の強化」と「ネットワーク化」を重視し「道の駅」自体が目的地になるように育てていくとされている。そこで、以下の点について伺う。

#### 1 「道の駅」の現状について

- (1) 休憩機能(24時間利用可能なトイレや駐車場など)は、どのようになっているか
- (2) 情報発信機能(道路情報や地域の観光情報など)は、どのようになっているか
- (3) 地域連携機能(地域の特産品を紹介する農水産物直販所など)は、どのようになっているか
- (4) 利用状況について(過去3年の駅別状況)

#### 2 今後どのような「道の駅」を目指していくのか

#### 3 今後の展開及び取組について

## 公共施設の適正化について

質問者 赤尾 昌昭 議員

### 質 問 要 旨 (一問一答方式)

来年度、田原市当初予算案は総額で前年度比2.5%のマイナスとなり、その要因については合併後に活用してきた地方交付税の算定替終了に伴うものなど、おおよそ想定の範ちゅうであったと思われる。しかしながら、昨年末に発表された平成28年度税制改正大綱で地方法人課税の見直しが表明され、それを基に平成26年度をベースとした地方法人税の減収の試算は平成30年でマイナス25億円、合併による地方交付税の算定替縮減などを加えると資金収支合計はマイナス32億円にも上ると公表された。このようにこれまでの想定を大きく上回る減収要因が加わったことで、さらなる危機感を持って行財政改革を進めなければならない時が来たと思う。人口減少などの社会動態などこれまでの想定に加え、財政的根拠が大きく変わる中、市民の生活に直結している公共施設の運営管理にも踏み込んだ対応が迫られるのではないかと考える。また、策定中の都市計画マスタープランにおいても土地利用に留まらず、公共施設のあり方にも具体的な方針を示されるべきではないかと考える。そこで、以下の点について質問する。

- 1 都市計画マスタープランと公共施設等総合管理計画との整合性は
- 2 財政的根拠の変化に伴い、公共施設適正化計画の見直しの考えは
  - (1) 実施時期などスケジュールは
  - (2) 削減目標は
  - (3) 配置基準などの考え方は
- 3 整備などを予定している施設の計画への影響は

# 人口減少時代の土地利用施策について

質問者 大竹 正章 議員

## 質 問 要 旨 (一問一答方式)

- 1 都市計画区域区分（線引き制度）は必要か
- 2 行政財産の跡地利活用に対する市の姿勢は
- 3 景観保全しつつ有効な山林活用の方策は
- 4 耕作放棄地解消と優良農地整備は進むか
- 5 集落の人口減少がもたらす地区課題について行政の対応は
- 6 地区計画とまちづくり推進計画について



# 1 スポーツ振興で健康なまちづくりを

質問者 河邊 正男 議員

## 質 問 要 旨 (一問一答方式)

- 1 市民ぐるみのスポーツ・健康づくりの集大成の場としてシティマラソン（ハーフマラソン）大会の開催は
- 2 赤羽根文化広場周辺の山を活かしたクロスカンントリーコース、宿泊・トレーニング施設の整備は

## 2 ごみの分別・資源化で浮いた財源を教育・福祉の 充実に

質問者 河邊 正男 議員

### 質 問 要 旨 (一問一答方式)

- 1 燃やせるごみで資源にできない割合が6割近くあるが、資源にできない理由は何か
- 2 市民と行政の力で多くが資源化できると思うが、どのように考えているか
- 3 炭生館活用と焼却炉を持たないごみ行政への転換について
- 4 焼却炉を持たない志布志市と田原市を比べれば1人当たりのごみ処理費は大きな差がある、ここをどう見るか
- 5 浮いた財源を給食費の無料化・子育て支援・国保・介護の負担軽減に回すことについて、この道を踏み出すべきでないか

### 3 国民健康保険の広域化と田原市国保税について

質問者 河邊 正男 議員

#### 質 問 要 旨 (一問一答方式)

- 1 国保加入者の構成・実態は
- 2 国保税は低所得者の負担能力を超えていると思うが、これについての認識は
- 3 低所得者対策として配分されている支援金を国保税引き下げに
- 4 子育て支援の一環として均等割り（18歳未満）の軽減を
- 5 県が財政運営の主体になる。制度安定化は市民負担の増大に繋がらないか

## ふるさと納税について

質問者 荒木 茂 議員

### 質 問 要 旨 (一問一答方式)

ふるさと納税制度は、平成20年に自分のふるさとへ寄附という形で貢献する制度として開始されたと思う。最近では、豪華な返礼品と寄附金控除によるお得感、またワンストップ特例制度による手軽さ、マスコミ等の報道により多くの自治体で多額の寄附金を受けている。田原市でも、ふるさと納税を活用したシティーセールス活動を推進するものと聞く。

そこで、次の点について伺う。

- 1 田原市の現状と課題について
- 2 ふるさと納税に対する期待と今後の推進方法について

# 1 病児・病後児保育の整備・実施実現に向けて

質問者 辻 史子 議員

## 質 問 要 旨（一問一答方式）

子ども・子育て新支援制度の開始に合わせ、各地の自治体や事業者は新制度を活用して保育サービスの充実に取り組んでいる。子どもの急病のために有給休暇を使い果たし、職場を去ったり、仕事を変えなければならないことは珍しくない。仕事と育児の両立を支援する観点から子どもを一時的に預かる「病児・病後児保育の充実」は不可欠であると考えます。本市においても病児・病後児保育の整備・実施実現に向けて取り組んでいただくよう以下の点について伺う。

- 1 病児・病後児保育について市の認識は
- 2 これまでの取組の現状は
- 3 病児・病後児保育の整備・実施実現に対する市の考えは

## 2 認知症高齢者やその家族を支える施策について

質問者 辻 史子 議員

### 質 問 要 旨 (一問一答方式)

国の2016年度予算案には、国が2015年1月に策定した「認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)」に基づき、認知症の人や家族などをきめ細かく支える施策が盛り込まれた。そこで住み慣れた地域で医療、介護、生活支援などのサービスを提供する「地域包括ケアシステム」の構築を進めている中で、本市の認知症高齢者の人やその家族を支える施策はどのように展開されているのか以下の点について進捗状況を伺う。

- 1 認知症高齢者の現状について
- 2 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供について
- 3 認知症の人の介護者への支援について
- 4 認知症予防の推進について
- 5 認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進について

# 1 国の税制改正に伴う田原市の減収対応について

質問者 渡会 清継 議員

## 質 問 要 旨（一問一答方式）

平成27年12月24日に閣議決定された平成28年度税制改正大綱においては、地方法人課税の偏在是正として、市町村の収入源となっている法人市民税の国税化の拡大が明らかとなり、法人市民税を歳入の柱としている本市は平成29年度以降、大幅な税収減が見込まれることとなった。そして、その時期が地方交付税の合併算定替終了と重なることから減収による財政危機が憂慮されるが、今後、地域創生を推進しながら、安定的な行政サービスを堅持するためには、長期的な展望に立った財政運営に取り組む必要があると考える。

そこで、次の点について伺う。

- 1 地方法人課税の見直しに対する愛知県知事の緊急声明の内容と本市への影響について
- 2 本市が合併特例措置として、国から受け取ってきた地方交付税の状況について
- 3 平成29年度以降の減収想定とそれに対する財政運営の方針について

## 2 赤羽根地域のまちづくりについて

質問者 渡会 清継 議員

### 質 問 要 旨 (一問一答方式)

現在改定中の田原市都市計画マスタープランにおいて、赤羽根地域の地域づくりの目標として「太平洋ロングビーチ周辺における観光・交流と一体的なまちづくり」「サーファー等の移住による地域の活性化」「赤羽根市街地の生活拠点機能の確保と地域コミュニティの維持」が示されている。また、まち・ひと・しごと総合戦略においても「地域の魅力・住みよさの向上」「定住・移住促進」が掲げられ、オリンピックのサーフィン会場の誘致とともに今後の具体的な取組を大いに期待するものである。

そこで、オリンピック誘致と赤羽根地域の整備計画について伺う。



# 新年度からの市の業務体制等について

質問者 杉浦 文平 議員

## 質 問 要 旨 (一問一答方式)

### 1 市の組織・機構改革について

平成27年12月議会で平成28年4月1日付けの田原市組織機構改革案が出された。質疑の中で、課については未定である旨があった。そこで、次のとおり伺う。

- (1) 12月議会で指摘された問題点の抽出、検討は行ったか
- (2) 課について、名称、所管事務の変更及び課の数の増減はあるか

### 2 渥美支所の今後について

平成28年4月1日から渥美支所の9割をJA愛知みなみに貸し付けることになるが、支所の今後について不安を感じる市民も見られる。そこで、次のとおり伺う。

- (1) 面積は支所部分がどの程度減少するのか
- (2) 市民生活への影響はどうか